



いわきうさぎ

YUKIUSAGI

いわや 岩谷医院会報 第12号(新年号) 平成18年1月1日

岩谷医院

院長 岩谷文夫 (循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

岩谷医院ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

おめでとうございます。
平成十八年の新年を皆様お元気にお迎えにな
られたことと思います。今年はどんな年になる
のでしょうか? 身近なところでは、国の経費節
減の一環としての医療制度の改革があります。
昨年十二月にはたくさんの署名を有難うござい
ました。自己負担額の増加は勿論大きな問題で
すが、医療機関側にとつても必要な検査でも自
己負担額を考え躊躇してしまった現実がないわけ
ではありません。これからも患者さんが納得で
きるように説明し、理解していただき、質の高
い医療が出来るよう心がけたく思っております。

当院のモットーのヒヤシンス医療の“ス”はす
ぐれた医療の“ス”です。副院長が合流し、そ
の点も強化され、患者さんの待ち時間の問題も
かなり解消されています。今
年もスタッフ一同明るく元気
に頑張りますのでよろしくお
願い申し上げます。

院長より
一言

“健康スポーツメディカルチェック”

昨年のある時期、スタッフが私に新聞の切り抜き記事を見せてくれました。それは『中高年の登山ブームを反映して、登山時の突然死が増えている』というもので、その大きな原因は心筋梗塞や不整脈など心臓に関するものであり、専門医は『そのようなトラブルを未然に予防するためには運動負荷心電図などの循環器検査が有用』と述べていました。私も社会保険センターのスポーツ医をしております。アスレチック教室における会員の方のメディカルチェックを担当しており、スポーツ時のトラブル防止には努めてきましたが、新聞記事と同様な考え方で昨年暮に当院でも定量的な運動負荷検査の出来る自転車エルゴメーターを設置いたしました。健康スポーツメディカルチェックとして心臓超音波検査、動脈硬化度検査なども含めたセット検査も行なえるようにいたしましたが、時間と手間のかかる検査のためとりあえず土曜日午後のみの予約検査といたしました。検査を希望される方は是非ご相談下さい。



新年明けまして
おめでとうございます



中国(西安)の世界遺産観光の旅

福島市町庭坂 齋藤幸雄

院長先生との出会い

平成十三年一月医大病院で大動脈弁狭窄症と診断、岩谷先生のもと大動脈弁置換手術(生体弁)同年二月退院。術後の経過は順調に推移、二年半経過後の十五年八月脳梗塞(左不全マヒ)に罹病、大原病院に入院、その際、副院長先生にお世話をになりました。

早期治療のかいあり一ヶ月で退院、その後のリハビリは手足の運動、散歩を日課とし、現在左手指の多少のマヒを除き、歩行も普通とまではいかぬまでも、何とか回復しております。ただ、精神的には年令的なこともあるのか、思い込みも激しく、頑固で怒りっぽく、引き込みがちになりつつありました。

この状態を娘婿が心配、海外旅行に孫(大学生)も同行で、行き先は、中国、西安(世界遺産)の観光となりました。

観光

西安は成田から直行便で約五時間、屈指の古都、シルクロードの玄関口として繁栄。市街地は城壁に囲まれ、柳の緑が美しい、落ち着きのある懐かしさを感じました。

秦の始皇帝が中国を統一、都とし、二千二百年前に、近郊に壮大な始皇帝陵と、兵馬俑坑の地下宮殿を建造しました。中央集権の国造り、君主独裁制度を確立、想像を絶する規模の兵馬俑です。整然と並んだ八千体を超える実物大の精巧な兵士、馬、戦車の地下軍團が埋められていて、今なお、発掘は続けられている。これぞ、世界遺産感激の極みであります。

今後生きてる限りお世話になりたい岩谷院長、副院长先生、そしてスタッフの方々、新年を心よりお祝い申し上げますとともに本年もよろしくお願ひ申し上げます。思えば三十数年前、個人建設の経理をしました。

むすび

三泊四日の海外旅行ではあるが、家族での楽しい旅行ができたのも、日頃両先生の健康指導のおかげと深く感謝しております。これからは、精神面で、皆に心配かけないよう努力することが課題となりました。



心臓手術から三十年、多くの方々に感謝して

—1回目の手術—

伊達郡梁川町 酒井知子

連載(その1)

平成十八年の新年。皆さんに感謝の気持ちで迎える嬉しいお正月。それが実感です。岩谷先生有難うございます。昭和五十一年、一回目の心臓手術をしてから三十年。紅白歌合戦を聞き、除夕の鐘に一年の無事を感謝し、新年にお屠蘇を祝うことの出来るようこび、今年を振り返りながらも、頭によぎるお世話になった方々との出来事をつづり書き、御礼のしるしになればこの上ない幸せです。

昭和五十一年七月初旬、講師のH先生に図解して説明していただき、病名は僧帽弁狭窄症と知りました。「独身ですか?」と問われ、「主人と子供が二人おります」「では来週はご主人と一緒に来てください。帰りに本屋さんで心臓の参考書を買って調べてみると分かりますよ」といわれましたががせんでした。

昭和五十一年九月十六日に入院するまで何度も入院当日は頭の中は真っ白、先生方のお話を信じることが第一と決めました。外出は勿論、階段や階下に行くことも禁止です。不安でした。昭和五十一年十一月、右心臓カテーテル、一週間後に左心臓カテーテル検査を受けました。担当の先生はI先生、A先生だったと思います。検査の時は全身に一瞬炎が走り抜けていく時の恐ろしさで震えがとまりませんでした。医学部の学生さんや看護学校の学生さんが来ていて、岩谷先生がモニターでテレビを見ながら何やら説明されていました。昭和五十一年十二月一日、心臓手術です。主人が手術室の前まで付き添ってくれましたが、エレベーターの中で指輪をそっと主人に渡しました。又この指に戻りますように。心の中でお祈りしながらオペ室に入りました。記憶はそこまででした。

(つづく)

担当し、ようやく会社設立を完了、二人の子供にも恵まれ、忙しさの中にも充実さと希望に満ちた毎日でした。その頃より何となく体調が思わしく近くの病院にいったところ、先生から福島医大病院に診て検査をしてもらうようと紹介状をいただきました。恐る恐る県庁前にあった福島医大病院に診察に行つたのが病気との付き合いの始まりでした。福島に行くことは仕事上、県庁、税務署、市役所、建設事務所など、医大病院前を何回も通りますが、まさか私自身がお世話になるなどとは夢にも思いました。

平成十三年一月医大病院で大動脈弁狭窄症と診断、岩谷先生のもと大動脈弁置換手術(生体弁)同年二月退院。術後の経過は順調に推移、二年半経過後の十五年八月脳梗塞(左不全マヒ)に罹病、大原病院に入院、その際、副院長先生にお世話をになりました。

早期治療のかいあり一ヶ月で退院、その後のリハビリは手足の運動、散歩を日課とし、現在左手指の多少のマヒを除き、歩行も普通とまではいかぬまでも、何とか回復しております。ただ、精神的には年令的なことがあるのか、思い込みも激しく、頑固で怒りっぽく、引き込みがちになりつつありました。

この状態を娘婿が心配、海外旅行に孫(大学生)も同行で、行き先は、中国、西安(世界遺産)の観光となりました。

観光

西安は成田から直行便で約五時間、屈指の古都、シルクロードの玄関口として繁栄。市街地は城壁に囲まれ、柳の緑が美しい、落ち着きのある懐かしさを感じました。

秦の始皇帝が中国を統一、都とし、二千二百年前に、近郊に壮大な始皇帝陵と、兵馬俑坑の地下宮殿を建造しました。中央集権の国造り、君主独裁制度を確立、想像を絶する規模の兵馬俑です。整然と並んだ八千体を超える実物大の精巧な兵士、馬、戦車の地下軍團が埋められていて、今なお、発掘は続けられている。これぞ、世界遺産感激の極みであります。

今後生きてる限りお世話になりたい岩谷院長、副院长先生、そしてスタッフの方々、新年を心よりお祝い申し上げますとともに本年もよろしくお願ひ申し上げます。思えば三十数年前、個人建設の経理をしました。

(つづく)

短歌、俳句、川柳

坂大りんさん
(福島市佐倉下)

短歌

習慣病 日本の文化 和食なり
漆器の膳に 心癒さる

平成十七年十月十六日 すずらんの会にて詠む

俳句

天くだる 松の梢に 天女舞う

平成十七年十一月十五日 紀宮様ご結婚祝いて
*この句には後日談があります。坂大さんがこの
句を作られたあとにこんなイラストが新聞に載
ったそうです。まさに奇遇ですね。(院長)



川柳
若竹の 根元飾れり 姫小松
若水の 流るる彼方 君ありき
ゆきうさぎ 火消装束 出初式
毎年一月六日は出初式 初出場

小丸孝也さん
(福島市蓬莱町)

川柳

欲の皮年をとつてもちぢまらず
高座より笑いの癒しウツを消す
求めても続きの夢は出てこない
もてあまし継続審議でかつこつけ
相続の遺産目当ての墓参り
後悔と後の祭は五分五分か
甲子園悔しい分だけ上が減り
今のは正直でなくとも馬鹿を見る
糖分は当分の間控えめに
継続は力にあらず意志が先



自転車エルゴメータ

我が家のベット②

愛称『チャコ』
立子山生まれの12才です

福島市方木田(佐藤千世さん)

ヨーグルトとトーストが大好きで、朝夕の散歩は飼い主以外とはしません。

【特技】犬のおまわりさんの歌を「さん、はい」の号令で一緒に歌います。

【飼い主より】

苦楽と共に私に寄り添って見守ってくれるので掛け替えのない愛犬です。性格がとても優しいので近所の人たちにもかわいがってもらっています。でも家中に一步はいると番犬として一役買っており、来訪者が来ると吼えて知らせてくれます。



患者さんのコーナー



心臓手術後30年の酒井さん、今回から連載手記の著者ですが、ご主人のお兄さんが撮られた写真「吾妻山のゆきうさぎ」を寄贈していただきました。医院に飾らせていただいています。(院長)



生直後より医療機器を必要とした旧姓佐藤さん。それ以来のお付き合いです。この度めでたく出産。元気な赤ちゃんを連れて来院されました。本当に涙が出るくらい嬉しかったです。ちなみに私の処女論文(医師として初めての論文)の主人公は彼女です。(院長)



【診療について】

副院長は火曜、水曜の午前中のみ大原総合病院での診療になります。それ以外の日は、院長、副院長の2人体制になりますので、以前より待ち時間は少なくなっています。また診察の順番は患者さんの状態により変わることがあります。ご了承下さい。

【駐車場について】

医院横の7台の駐車スペースの他に小島薬局の駐車場も空いている場合には利用可能ですので受付にその旨お知らせ下さい。雨や雪のときは駐車場および玄関前はすべりやすくなっていますのでお気をつけ下さい。玄関にはタオルを用意しておきますのでご自由にお使い下さい。

小島薬局だより

新年あけましておめでとうございます

今年も小島薬局は、皆様に気軽に相談される薬局を目指して参ります。

さて、日本各地インフルエンザの流行状況が、テレビ、新聞等で報じられております。

インフルエンザの診断を受けた時、最も効果が期待出来る抗インフルエンザウィルス薬「タミフル」があります。この医薬品の安定した供給が図れる事が重要です。

結論から言えば、福島県薬事グループのホームページの報告によると、十分な量が供給される予定との事です。以下、県の情報によりお話しします。

福島県は全国に先駆けインフルエンザにかかると予測される患者数に対応したタミフルを備蓄されている事は、新聞報道でご承知の事と思います。そして、特定地域に過剰な量が供給される事なく、地域の流行に適切に対応するとしております。又、メーカー情報によると、インフルエンザ流行の発生にあっては、地域医療機関には、優先して出荷するということですので、御安心下さい。

今年も皆様にとって、素晴らしい年であります様に、そして、今年も宜しくお願ひ申し上げます。

平成18年元旦

有限会社 小島薬局

代表取締役 小島 衛

社員一同

看護師さんより

言い分けは、いいわけ？

新年を迎え、どのようなお正月を過ごしましたか？

年が明けてからの診察で、体重の増加を指摘される方もいるのでは？

普段の食事を控えていても、休みが続くと、ついひと口、ついひと口と……

その結果、体重UP!! 体重が増えるということは、脂肪がまた増えたことになり、その結果、高脂血症、高血圧、動脈硬化、糖尿病など、生活習慣病の悪化を引き起こしかねません。先生や家族に指摘をされて、言い分けを考えるよりも、自分自身への問いかけをしっかりして、いきたいものです!!

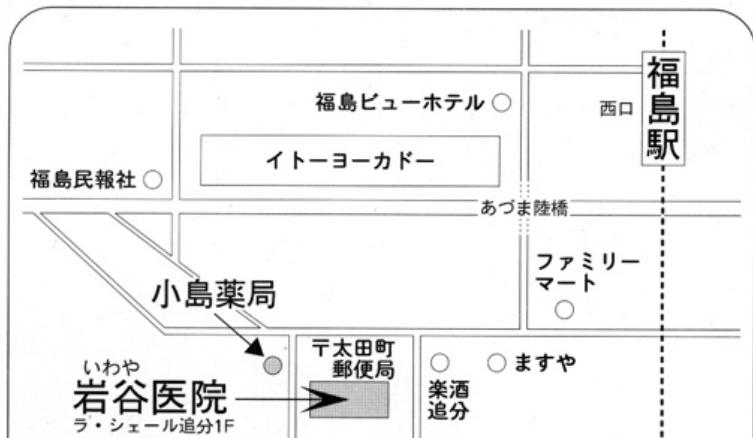
- ひと口ならいいかなぁ？
- 寒いから、今日は散歩休み……
- お客様が来たからついつい……
- 果物だから、体に良いと思って……
- ひざが痛いから運動は……？

思いあたりませんか？ 言い分けしないで済むように、年末年始の生活をリセットして、これから的一年を良い年で過ごせるように考えて行きましょう。



あとがき

今年も岩谷医院はヒヤシンス医療をモットーに頑張りたいと思います。何かお気づきの点がありましたら遠慮なくおっしゃってください。斎藤さん、素晴らしい旅でしたね。酒井さんにはまさにご自分の半生記を原稿用紙12枚にしたためていただきました。大変貴重な経験ですので連載させていただくことにいたしました。今年も良い一年になりますように。



【福島駅西口より 歩き7分】 TEL 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日（木曜日を除く）は 午前9時～12時 午後2時～5時30分
土曜日は 午前9時～午後2時（昼休みなしで診療いたします）
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動静脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など